

# コロンビア

## 主要データ

国名〔英名〕	コロンビア共和国〔Republic of Colombia〕
面積(km <sup>2</sup> )	1,138,910
海岸線延長(km)	3,208
人口(百万人)	44.7
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	39.2
GDP(百万US\$)	285,511
一人当りGDP(US\$)	6,273
主要鉱産物：鉱石	ニッケル、金、銀、鉄鉱石
主要鉱産物：地金	フェロニッケル、粗鋼
鉱業管轄官庁	鉱山エネルギー省(Ministerio de Minas y Energia)
鉱業関連政府機関	鉱山地質研究所(INGEOMINAS)
鉱業法	鉱業法(法律685号、2001年)、2010年2月に一部改正
ロイヤルティ	法律756号、2002年
外資法	コロンビアにおける投資家のための法的安定に関する法律(法律963号、2005年)
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境法(法律99号、1993年)
鉱業公社	-
鉱業活動中の民間企業	BHP Billiton、Anglo Gold Ashanti、Greystar Resources
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	・2011年3月に、Angostura金・銀プロジェクトの公聴会が抗議行動により中止となったことを契機に、Greystar Resources社が環境ライセンスの申請を取り下げ
2010年のトピックス	・2010年2月に鉱業法の一部を改正する法律が施行

## 1. 鉱業一般概況

コロンビアは、石炭、石油等エネルギー資源のほか、ニッケルをはじめとする金、銀、銅等の非鉄鉱物資源の賦存が知られている。

ニッケルは、同国北部のCordoba地域に位置するGerro Matoso鉱山(BHP Billiton)で生産され、フェロニッケルとして輸出されている。2010年のコロンビアにおけるニッケルの生産量は4万9,400tで、2009年に比べ5%の減産となった。ニッケルはフェロニッケルとして全量の14万800tが中国、イタリアなどに輸出された。

金については、その多くが同国北西部のAntioquia地域での小規模事業者による採掘によるもので、2010年の金の生産量は50.9tで、2009年に比べ6.5%増加した。

鉱業環境としての治安状況は、2002年に発足したウリベ政権による麻薬・テロ対策、警備強化、並びにその政策を継承して2010年に就任したサントス大統領による重点的な取り組みによって大幅に改善したと言われており、石炭やフェロニッケルを生産する北部地方は治安状況もよく、能率的な鉱業活動が行われている。しかし、南部国境地帯やアマゾン森林地帯では非合法武装集団が依然活動しており、また、コカの栽培地域であることから、鉱業開発の前提となる探査活動が依然として制限されている。コロンビアのアンデス山系は、ベースメタル資源のポテンシャルが高いと推定され、今後、更に治安状況が改善されれば、金属資源開発が活発になる可能性が高い。

なお、コロンビア鉱業協会（Asomineros）によると、コロンビアでは2010～2020年の間に240億US\$の鉱業投資（石炭産業：125億US\$、金鉱業：50億US\$、ベースメタル鉱業：45億US\$、探鉱活動：20億US\$）が計画されている。

## 2. 鉱業政策の主な動き

コロンビアでは2010年2月9日に、2001年に制定された鉱業法の一部を改正する法律（法律1382号）が施行された。本改正法には、政府による鉱区管理の強化（例えば国家特別保護区の設定や当該保護区の入札によるライセンスの付与）、探鉱期間、鉱区有効期間の変更、小規模・零細鉱業者の合法化、自然公園や森林保護区、ラムサール条約で指定された湿地帯、標高3,000m以上のパラモと呼ばれる赤道アンデス地域などでの鉱業活動に対する鉱業ライセンスの取得禁止などが規定されている。

従来、鉱業を推進する鉱山エネルギー省と環境保全を管轄する環境住宅国土開発省間の政策的な矛盾が指摘されていたが、2010年10月に、Uribe環境住宅国土開発大臣がINGEOMINASに対して改正法によって鉱業活動が禁止された自然公園やパラモ地区、湿地帯や森林保護区などで付与されている鉱業権を早急に調査するよう指示する一方で、「鉱業セクターが全国民の望む経済の原動力になると同時に、我々の環境方針と一致することが最大の目的である」と述べ、自然環境やその質を保全しつつ環境に対する責任を遵守する鉱業を許容するとの立場を強調した。一方、鉱山企業からは、保護区域の定義の明確化を求める声が上がっている。

コロンビアでは、環境保全と鉱業開発の両立を可能とする政策や法制度の確立、開発を促進するためのインフラへの投資及び更なる治安の改善が課題となっている。

なお、2011年2月には、炭鉱での死亡事故を背景に、サントス大統領が鉱業監査や管理を中心とする鉱業セクターの構造改革、組織改革の迅速な実行を指示したと伝えられている。

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

### (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
ニッケル(千t)	41.6	51.8	49.4	-4.6
金(t)	34.3	47.8	50.9	6.5
銀(t)	9.2	10.8	15.1	39.8
鉄鉱石(千t)	500	500	-	-

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011、Steel Statistical Yearbook 2011)

### (2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
フェロニッケル(Ni 純分千t)	41.6	51.8	49.4	-4.6
粗鋼(千t)	1,053	1,053	1,213	15.2

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011、Steel Statistical Yearbook 2011)

### (3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	10	10	10	0.0
亜鉛(千 t)	21	21	20	-4.8
鉛(千 t)	17	21	20	-4.8
錫(千 t)	0.5	0.4	0.4	0.0

(出典：銅：ICSG Copper Bulletin May 2011、亜鉛・鉛：IZLSG Lead and Zinc Statistics June 2011、錫：World Metal Statistics Yearbook 2011)

### (4) 主要金属輸出量

表 3-4. 金属輸出量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
フェロニッケル(千 t)	111.6	169.6	140.8	-17.0

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2011)

### (5) 主要金属輸入量

表 3-5. 精鉱中含量・地金輸入量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	6.4	6.2	6.6	6.5

(出典：ICSG Copper Bulletin May 2011)

## 4. 鉱山・製錬所状況

Cerro Matoso 鉱山は、コロンビア北部の Cordoba 地域に位置し、BHP Billiton が操業する同国唯一のニッケル鉱山で、フェロニッケルとして中国、イタリア等に全量が輸出されている。

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益保有企業	鉱種	2010 年生産量 (千 t)
Cerro Matoso	BHP Billiton	ニッケル	49.4

(出典：World Metal Statistics June 2011)

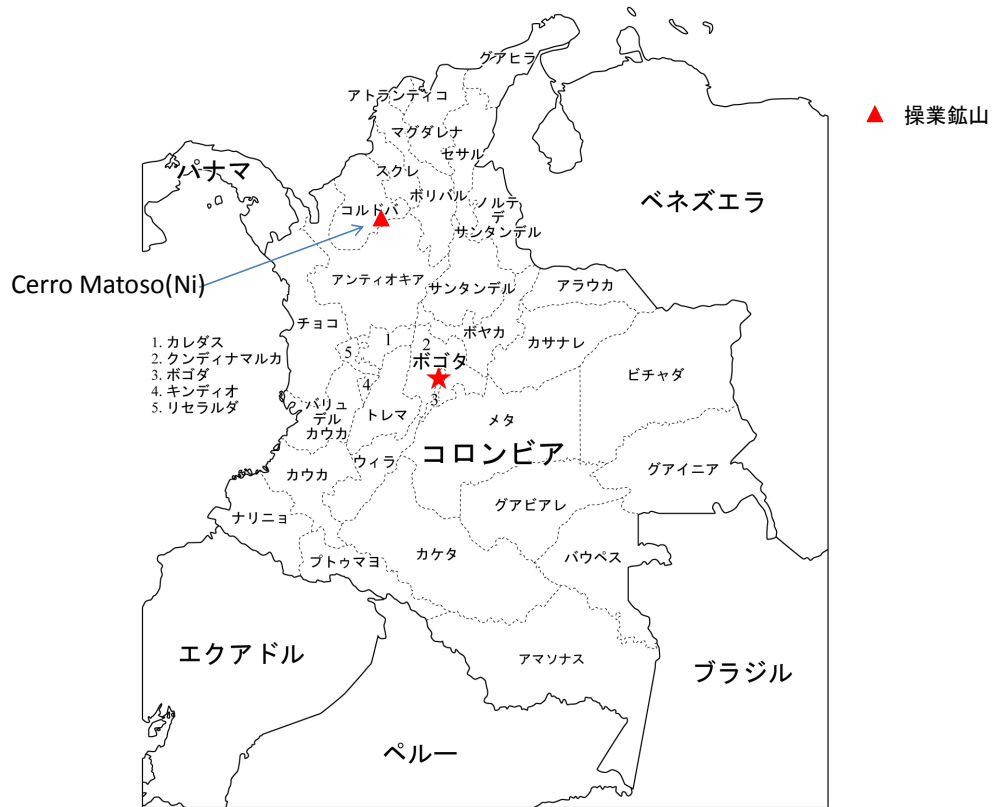


図 1. 主要鉱山位置図

## 5. 探鉱状況

### (1) La Colosa

Anglo Gold Ashanti 社（南ア）による金の探鉱プロジェクトで、Tolima 県内、ボゴタの西方 150km に位置する。同社は 2015 年頃の操業開始を目標としており、年間 70 万 oz（約 22t）の金の生産が見込まれている。

ただし、本プロジェクトに関しては、2008 年に自然保護区内で解除の認可を受けずに探鉱活動を実施したとして地元 Tolima 県から探鉱中止命令が発せられ、探鉱活動の中断を余儀なくされた。また、その後も水不足を理由に探鉱活動が認められない状況が続き、プロジェクトは大幅な遅延を余儀なくされている。現在は環境許可、水利用許可を申請中となっている。

鉱量：3 億 8,100 万 t

品位：金 1g/t

### (2) Angostura

Greystar Resources 社（加）による金・銀の探鉱プロジェクトで、Santander 県に位置する。2009 年 12 月に EIA（環境影響評価書）が提出されたが、2010 年 2 月に鉱業法の一部が改正されたため、環境住宅国土開発省は 2010 年 4 月に同社に対して EIA の再提出を求めた。しかし、新たな EIA 作成は時間的、経費的に多大なロスを招くこと、また、EIA 提出時には新たな鉱業法が施行される前であったことなどから同社は異議を申し立て、結局、環境住宅国土開発省は提出済みの EIA を改めて審査することとなった。

その後、EIA 承認プロセスの一環として 2010 年 11 月及び 2011 年 3 月に地元で公聴会が開催されたが、住民の抗議行動によって途中で打ち切られることとなり、これを契機として、Greystar 社は環境ライセンスの申請を取り下げた。

Angostura プロジェクトの開発計画面積は 220ha で、鉱山施設が海拔 3,400~3,800m のエリアに建設される計画であったが、改正鉱業法は海拔 3,000m 以上のパラモ地域での鉱業活動を禁止しているため、同社は開発計画の変更を余儀なくされている。

なお、2009 年に発表されたプレ FS 結果によると、本プロジェクトはコロンビア初の露天採掘金鉱山となり、年間 51.1 万 oz (約 16 t) の金と 230 万 oz (約 72 t) の銀を 15 年以上にわたって生産することが見込まれている。

鉱量：4 億 300 万 t

品位：金 0.965g/t、銀 5.927g/t

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

フェロニッケルについては、2010 年の総輸入量 47,600 t に対して 5,500 t と割合で 12%、ニューカレドニア (86%) に次ぐ輸入先となっている。

表 6-1. 日本への精鉱・地金輸出量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
フェロニッケル (千 t)	7.2	4.3	5.5	27.9

(出典：財務省貿易統計)

### (2) 日本企業による投資状況等

特になし

## 7. その他トピックス

特になし

(2011.9.7 リマ事務所 山内英生)